

第92号

発行  
岐阜県加茂郡  
東白川村公民館  
印刷  
今井印刷所

# 白川東報

昭和41年7月25日発行

季節のはなし  
7月のことを「ふづき」といいます。奥義抄という本に「7月、織女はたかすとして書をひらく故に文月」とあります。



キッチンカーがきました  
五加農事センター前で

## 男子バレーなど大活躍

### 熱戦つづく第九回郡体育大会

県内のスポーツに対する関心は昨年の岐阜国体大成功のあとよりいっそう高まっています。今年度の加茂郡体育大会もさる七月三日、白川町で開催された軟式野球予選を皮切りに各地区において各競技の熱戦が続けられています。東白川村の選手たちも各競技に出場、期待どおりの活躍を続けていますが、今まで

<p>七月三日 野球予選 (白川町) 本村チーチは第一試合に八百津町と対戦したが二対一で惜しくも敗退</p> <p>七月十七日 バレー、卓球決勝 (白川町) 一般男子バレー 優勝</p>	<p>七月二十四日 柔剣道、野球決勝 (川辺町、七宗村) 本村からは剣道が出場見事優勝しました。</p> <p>八月七日 陸上競技 (川辺町) 一般男子 (百米、八百米、三段跳、砲丸投) 青年男子 (百米、二百米、八百米)</p>	<p>三位 五千米、一万米、砲丸投</p> <p>二位 走巾跳、三段跳、走高跳、四百米リレー)</p> <p>失格 青年女子 (百米、二百米、走巾跳、走高跳、砲丸投)</p> <p>失格 教員男子 (百米、四百米、千五百米、走巾跳、走高跳、砲丸投)</p>
---	---	--

これで入賞(二位二位)の選手は九月、県営グラウンドで行なわれる県体育大会へ郡代表選手として出場することになり、本村選手の活躍が期待されています。

先日ある新聞で「名古屋で働く青少年の運動」として「故郷へ手紙を出そう」という記事が大きく掲載されていました。広く県外から就職、進学している青少年のなかには親元を離れて働くうちに「寂しさに負けて横道へそれていくものもいます。そんななかで「故郷へ手紙を書くものは間違いない」と雇用主たちが口をそろえているように、便りによつて親、き

先日ある新聞で「名古屋で働く青少年の運動」として「故郷へ手紙を出そう」という記事が大きく掲載されていました。広く県外から就職、進学している青少年のなかには親元を離れて働くうちに「寂しさに負けて横道へそれていくものもいます。そんななかで「故郷へ手紙を書くものは間違いない」と雇用主たちが口をそろえているように、便りによつて親、き

「故郷へ便りを出そう」反対にわたくしたちでできること、それは村を離れている肉身、友だちへ便りを出すことです。つなかりを深めるための運動は、ちよつとしたことから始められます。月に一回でもい、から故郷のニュースを送つてあげて下さい。手紙でもいい、この広報だけでも村の便りとしてなつかしく読まれることでしょう。

## 提唱

### ふるさとの たよりを送ろう

わたくしたちの村でも、六月号広報「ろばた放談」のなかで一部ふれたように、多くの人たちが就職に、進学、勤労に励げみが出てく

# 手洗いの励行など

## 一赤痢の発生を防ぐために一

今年も赤痢、どう処置すべきか、日の流行する時期となり、県下各地においても集団的に発生しているところがあり、赤痢菌は口からしか感染しません。飲食物の衛生とともに大切なことは「手洗いの励行」です。いかに衛生的に注意された食品でも、手が指が汚染していたのでは予防できません。赤痢が発生してからはおそすぎますから、皆さんこそつて次の事項を守り、伝染病を未然に防ぎましょう。

(1) 発熱、腹痛、下痢等異常な兆候の場合、すぐ医師の診断を受けましょう。

(2) 生水は絶対に飲まないようにしましょう。

(3) 食前、調理前、用便後外出から帰ったとき、おやつの時等、必ず手をよく洗いましょ。そしてそれを習慣にしましょ。

(4) 生物は充分に、煮焼してから食べましょ。

(5) はえ、カ、ゴキブリ、ねずみを退治しましょ。

(6) 炊事場の衛生にはたえず注意しましょ。

(7) どぶ、ごみ捨て場をきれいにしましょ。

診療を受けるには、次のことを必ず守って下さい

(1) 被保険者証を提出しなさい。

診療を受ける場合は、皆さんの加入してみえるそれぞれの保険の「被保険者証」がありますので、必ず受付へ提出するようにして下さい。これはどこの病院診療所へ行っても「被保険者証」がないと、医療費の全額を支払わなければなりません。東白川病院では「被保険者証」がなくとも、受付で事後調査記入の便宜をはかっています。

### 東白川病院からお知らせ

### 「守ってほしいこと」いろいろ

付で事後調査記入の便宜をはかっています。関係機関から強い指導や、通達があり、診療録整理や診療診断を受けずに薬をもらつて服用することですが、非常に危険なことであり、かえって病気を悪くする場合があります。必ず医師の診断を受けて薬を服用するように心がけて下さい。

### 加茂保健所健康相談日割表

曜日	内容
月	一般健康相談 ◎ 成人病相談
火	第二 ◎ 母親学級
	第三 妊産婦相談
	第四 精神衛生相談
	第一 幼児及び約束相談
水	第二 3カ月児乳児相談 ◎ 育成医療相談
	第三 5カ月児乳児相談
	第四 7カ月児乳児相談
	金

★ 受付は午前9時から午前11時まで  
 ★ ◎印成人病相談、母親学級、育成医療相談は午後1時から午後3時まで  
 ★ 毎週木、土曜日は所外活動ですから相談はいたしません。

健康相談が行なわれます

加茂保健所では、毎月別表のような健康相談を行なっています。相談になりたいことがありましたら、該当している日におかけになって下さい。

美濃加茂市太田町にある

▽けいさつだより△

「楽しい夏を」

※夏は暑さによる運転者の注意力がぶくぶくなるのと夏休みに入つて児童生徒、幼児の路上での遊びも多くなり、交通事故が増加することが予想されます。お互いが充分気をつけて事故を一件も起きないようにしましょ。

運転者が守ること

(1) 飲酒運転は絶対にやめましょ。

(2) 無理な追いこしをやらなましょ。

(3) いわぬり運転による転落に注意しましょ。

幼児、児童生徒が守ること

(2) 栄養を充分にとる。

(3) カの輻射を行なう。

(4) 帽子をかぶり、直射日光をさける。

(5) 予防接種をしておくこと

現在、岐阜県下において二名(七月三日現在)が発病していますが、今後多発の恐れもありますから注意しなましょ。

(1) 道路の横断は、左右を確認、手をあげて早く渡りましょ。

(2) 道路上では絶対に遊ばなましょ。

(3) 上級生は、幼児や下級生の手本となるような正しい通行をしましょ。

※ これからの夏の間は、痴漢が女性をおそうという犯罪が多くなります。こうした犯罪を未然に防ぐために次のようなことを注意しましょ。

(1) 夜道のひとり歩きはしなましょ。

(2) 「自動車で送つてやる」は用心する。

(3) 知り合つたばかりの男性には、とくに用心する。

(4) はだもあらわな、男性にとつて刺激的な服装はつゝしむ。

### 赤痢とならんで

### 日本脳炎の予防も

赤痢とならんで夏に流行する日本脳炎も恐ろしい病気です。例年、日本脳炎は八月、九月に最も多く発生しています。

この病気にかかると死亡する率が非常に高く、また後遺症が残ることの多い恐ろしい病気ですから、次のことを守り予防しましょ

(1) 過労をさけ、睡眠を充分にとる。

下さい。続けて薬を服用するような場合も新たに薬をもらう都度、診断を受けるようにして下さい。

(3) 診療時間を守りましょ

外来患者の診療は午前九時から午後十二時までです。受付は必ず午前十一時までにすませて下さい

毎週木曜日は午後から医局会(先生方の医療研究会)が開かれますので、とくに時間を守るようにして下さい。

(1) 過労をさけ、睡眠を充分にとる。

# お父さんも交えて 「越原家庭教育学級が開講」

一昨年は神土、昨年は五加において開設され成果をあげてきた「家庭教育学級」の学級のねらいは、最近のめまぐるしい時代のなかで、今年も越原小学校々々において開設されることになり、さる七月六日午後一親がその家庭教育というこ

教育ができるように、学ばうとするもので、一年間約二十時間の学級を開き、講話、映画鑑賞、話し合いなどを通じて有意義な学習が継続されることになっていま

附属中学校主事野田清氏の「幼児教育のありかた」という講話に熱心に耳をかたむけました。明るい家庭づくりにのために、明るく元気な子どもを育てるために、家庭教育というものが村のなかでも認識れさせてきつ、あ

開講式には五十名の学級生全員が出席、桂川完二学級長を中心に年間の学習計画など検討、討議したあと、家庭教育学級の成果が各

方面から期待されています



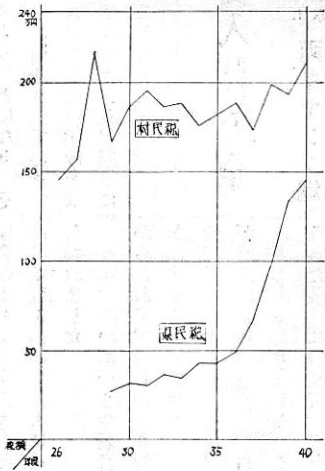
## 税の目 (1)

税の目……この欄では、これから毎回「税務」という目からながめた村のあゆみ、そしてわたくしたちの生活の姿など角度を変えてとらえてみたいと思います

## 住民税は十五年間で こんなに変わりました

昭和二十五年、シャウブ勸吾による税制の大改革により、それまでなじみ深かつた戸数割が廃止になり、現在の村民税が誕生しました。昭和二十五年には、所

村民税のうつりかわり



改正が加えられて現在に及んでいきます。

今、かりに五人家族で百万円の所得のあった人の昭和四十年年度の村民税は、均等割を含めて二万三千七百円となりますが、この人

七万四千五百円になりましたが、この差額のうち、この十五年間に、減税によつて収められた額は、なんと

しかし、この図表でわかるように昭和二十九年に生じたように、毎年増加する一方にあるようです



## 趣味

### 「やどめ会」

どの家庭を訪ねても、玄関や居間に季節の草花がつけられていると、何かせちがらいい、ゆとりのない毎日といわれているなかに、ほつとした清涼感みたいなものを感ぜさせてくれます

今月はそういつた「いけ花」を趣味として、楽しみながら勉強を続けているグループが村内にもいくつかあることを紹介し、そしてそのなかのひとつ「やどめ会」の集りを訪問しました

この会は神土平上区の奥さんばかり十名の会員で構成されています。訪問した夜は土砂降りの晩だというのに会員の西野さんの笑い声が、集まられた皆さんの笑い声でいっぱい。持ちよつた花を「これではばき」の「もう少し切つたら……」

いっしょうけんめい研究しているのが本当には、えまじい。先生として依頼している千秋流岡崎氏(加



子母)は欠席だったが研究会の会長は誰ですか「この会なんかなりませんよ」。そうかも知れない、通じあ

心はなかなか旺盛、「この会」の会長は誰ですか「この会なんかなりませんよ」。そうかも知れない、通じあ

つた者同志の集まりには会長や会則は必要がないかも知れませんが、質問には誰か

は簡単です。

会が発足したのは昨年の十二月だからまだ満0歳といつたところ、集まりは毎月第一と第三土曜日の夜と

なっています。目的は季節の草花や木の枝を利用して「いけ花」を少しでも自分たちものにするところにあること、同好者を増すことによつて、単に「いけ花」だけに固定しない趣味の会にするところにあるそうです

が、会には奥さんばかりでなく男性、一般女性の参加も大歓迎だという話です。今後もちろんどしどしいけていくこと、年一回くらしい発表会を村のなかの会全部集めて行なえたら、それが今の望みだそうです

一日の仕事を終え、仲間が集まつて静かにいける花……それがこうした趣味の中に共通している没頭心なのかも知れません。大明神の会から五加地区の会まで村内いくつかの会が、歩調を合せあらゆる家庭の中にいけ花でいっぱいにしてほしいもの、そのためには「いけ花」は主婦だけという考えをすて、あらゆる人が精神修養をかねて花をいけるようにしてほしいものです。パチンパチンはさみの音がひびくなかに、美しく形が整えられていきます。

# 東中が三種目に優勝

## 郡中学校球技大会に大活躍

さる七月二日、三日の両日八百津町において、加茂郡中学校球技大会が開催され、本村東白川中学校からも各種目に参加し、男女バレー優勝など、めざましい活躍をしました。その成績は次のとおりです。

男子バレー 優勝  
女子バレー 優勝

男子バスケット 優勝  
女子バスケット 準優勝  
女子卓球 三位  
剣道個人戦(一、二年部) 古田一成 準優勝

その結果、男女バレー、男女バスケット、剣道(古田一成君)は、七月三十日に行なわれる中濃地区中学校球技大会に、郡代表として



農山村にも、現代社会の消費経済を伴った高度な文化が迫ってきています。わたしたちは二度とやつてこない青年期を、自由に本能のおもむくままに「レジャー」を楽もう「一日をゆかいにすごせれば」などと意志もなく、将来性もなく、今日一日だけをむなしくすごしているのが今の姿かも知れません。これが青年の本当のしあわせでしょう。か。反省も希望もない、泣き笑いの人生に安んじて生きていく毎日を

出場することになり、その成果が期待されていますが、スポーツ東白川の名は加茂郡はもとより、県下に広まることでしょう。

### 受入れは万全

神土 越原 両キャンプ場

さる七月一日午前十一時から越原温泉キャンプ場現地において、東白川村観光

協会のキャンプ場開きが関係者多数を招いて盛大に行なわれました。近年、町のあつさや騒音から逃れて、涼しい夏を静かに過ごすためのキャンプや、学生のキャンプ学習が盛んになり、村を訪れる人も多くなりました。こうした要求に答えて、三年目をむかえた越原温泉と、昨年スタートした神土キャンプ場もさらに施設、設備を整えて受入れ態勢は完了

### 後記

暑中お見舞申しあげます。本紙の呼びかけ「ふるさとの便り」に、広報を利

### 明日を考えよう

東白川青年団 大坪のり子

期こそ、よりよき社会にない手となるべく考えて見よう。そして時代の中堅となれるべく下地を作っておきたいものです。種子は寒い冬の間、静かに風雪の中結実の秋をむかえるとも、次に、次の世代へのより多くの子孫を正確に生み落してのいるのです。辺地のわたくしたちは、今日一日でできりながらやがて夜のとばりながら静かに開く朝にも似た解決の糸口を見た時、は違つて、直接聞き取り、ふれる機に歡喜することもあります。会が少ないだけに、けによりいっそう考え、力を保つために身近なことから考えてみよう。そして種子のように、静かに円満で平和な人間関係を生きていくこと、静かに芽をだし、たくましく夏



丈夫と考えている人も多いが、一定の筋肉労働や力仕事と云うものは、かえつて筋肉の一部や神経が片へりし、体全体のバランスを失い、どうしても早く故障が生じやすい。

このせちがら世の中に人間何が一番しあわせであるかと云えば、やつぱり健康である。

この健康の素は、むかしから、心の安せい、よい食餌、適度な運動が、その三大要素として挙げられているが今日は一つ、そのうちの適度の運動と云うことを考えてみたい。

運動は、先づ筋肉の順調な発達をたすけ、体を柔軟にする。体操など適度な運動を常時やつていれば、日常の動作が活潑機敏になり自動車やオートバイなどによる不時の危害がおそいかかっても、敏活にとびのいて、身を守ることができ

農村では、とかく毎日の農作業など力仕事が多く、筋肉労働になれているため、体操などしなくても大

そこで、この夏、毎朝六時三十分から行なっている「村民夏季ラジオ体操」であるが、日頃、健康に自信のある人には、余り関心がないかも知れないし、また、こんなことは迷惑の限りだと思つている方も多いかも知れないが、だからこそ、こんな関心のうすい迷惑なことは、一人でやる勇気はなくとも、みんなやればお互い迷惑にならない。

体操と云うものは、一時的に急激に行なうだけでは効果が無い。一定のわずかな時間でも、毎日欠かさず実行することによつて、はじめて、その効果が得られるものである。先づは理

つを云うまえに、せめて一週間か十日ぐらひは続けてみたらどうかと思う。

みたらどうかと思う。